



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 ウシオ電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜島 健爾

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-5657-1000

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	85,212	3.3	5,641	79.7	7,026	128.0	8,296	348.0
29年3月期第2四半期	82,520	6.9	3,139	52.0	3,082	59.3	1,851	66.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 14,254百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 7,524百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	64.94	
29年3月期第2四半期	14.46	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	320,215	224,055	69.8
29年3月期	308,430	213,289	68.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 223,662百万円 29年3月期 212,645百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				26.00	26.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	4.1	10,000	16.2	11,500	4.5	11,000	56.2	86.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	139,628,721 株	29年3月期	139,628,721 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	11,864,597 株	29年3月期	11,867,972 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	127,762,731 株	29年3月期2Q	128,043,148 株

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式については、自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料は平成29年10月30日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業について概観いたしますと、半導体及びフラットパネル関連市場が好調に推移したことから、関連する光源事業及び光学装置の需要が拡大しました。一方で、中国におけるシネマプロジェクターの固体光源化の拡大により、関連する光源事業及び映像装置の需要は縮小傾向となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は852億1千2百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は56億4千1百万円(前年同期比79.7%増)となりました。また、経常利益は営業利益の増益に加え、為替差損の減少などにより70億2千6百万円(前年同期比128.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益として厚生年金基金代行返上益を計上したことなどにより82億9千6百万円(前年同期比348.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (光源事業)

##### [放電ランプ]

露光用UVランプは、有機ELディスプレイを中心としたフラットパネルディスプレイ関連メーカーの設備投資が拡大、稼働率も高水準を維持していることから、リプレースランプの需要が増加しました。シネマプロジェクター用クセノンランプは、中国におけるシネマプロジェクターの固体光源化が進み、リプレースランプの需要は弱含みで推移しました。データプロジェクター用ランプは、セットメーカーの新製品に高ワッタージのランプが採用されたことから、販売が拡大しました。

##### [ハロゲンランプ]

ハロゲンランプ全体では、照明用ランプにおいて固体光源化が進み、販売はやや弱含みとなったものの、OA用ランプは、高付加価値な環境対応ランプの割合が増加傾向にあり、販売は堅調に推移しました。

その結果、売上高は378億9千3百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は54億8千7百万円(前年同期比35.5%増)を計上いたしました。

#### (装置事業)

##### [映像装置]

シネマ分野では、中国を中心とした新興国においてシネマスクリーンの新設が続いているものの、ランプに代わる蛍光体レーザー光源を使用したプロジェクターの拡大による競争激化により、シネマプロジェクターの販売台数は減少しました。一般映像分野では、エンターテインメント分野を中心にプロジェクションマッピングやデジタルサイネージ関連のソリューション案件が増加しました。

##### [光学装置]

次世代スマートフォン用メイン基板向け直描式露光装置の需要は引き続き好調に推移し、販売が拡大しました。また、スマートフォンに搭載する電子部品の高機能化を背景に、投影露光装置の販売は堅調に推移しました。有機ELディスプレイ関連の設備投資拡大により、有機ELディスプレイの製造工程で使用されるエキシマ洗浄装置の販売が増加しました。一方で、中小型液晶パネルの設備投資は弱含みとなったことにより、液晶関連装置の販売は減少しました。

その結果、売上高は467億9千6百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は8百万円を計上いたしました。

#### (その他事業)

その他事業におきましては、半導体・電子部品市況の好調を背景に、各種成形機の販売が堅調に推移しました。

その結果、売上高は15億4千5百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益は8千6百万円を計上いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,202億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ117億8千4百万円増加いたしました。主な増加要因は、商量増加による現預金及びたな卸資産の増加、厚生年金基金の代行返上による退職給付に係る資産の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、961億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億1千8百万円増加いたしました。主な増減要因は、商量増加による仕入債務等の増加、厚生年金基金の代行返上による退職給付に係る負債の減少と繰延税金負債の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,240億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億6千6百万円増加いたしました。主な増加要因は、厚生年金基金代行返上益として特別利益を計上したこと及び事業活動における利益獲得などによる利益剰余金の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ98億6千6百万円増加し608億4千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、99億6千1百万円の収入（前年同期は84億5百万円の収入）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上124億3千万円、減価償却費の発生33億6千3百万円、売上債権の減少10億7千4百万円、仕入債務の増加29億5千2百万円による収入があった一方で、退職給付に係る負債の減少69億1千2百万円、たな卸資産の増加31億3千5百万円、及び法人税等の支払14億7千4百万円の支出によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、22億2千万円の収入（前年同期は96億9千4百万円の支出）となりました。

この主な要因は、定期預金の払戻81億4千6百万円、有価証券の売却及び償還47億4千8百万円、及び投資有価証券の売却及び償還21億4千3百万円による収入と、定期預金の預入44億1千2百万円、有価証券の取得24億7千1百万円、有形固定資産の取得18億3百万円、及び投資有価証券の取得41億2千3百万円の支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、39億1千4百万円の支出（前年同期は1億7千9百万円の収入）となりました。

この主な要因は、長期借入れによる16億6千3百万円の収入と、長期借入金の返済19億5千3百万円、配当金の支払33億2千8百万円の支出によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	63,963	70,060
受取手形及び売掛金	42,349	41,491
有価証券	8,342	6,675
商品及び製品	28,369	27,858
仕掛品	10,301	12,670
原材料及び貯蔵品	13,750	14,722
繰延税金資産	4,789	4,175
その他	9,577	10,871
貸倒引当金	△1,110	△1,124
流動資産合計	180,334	187,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,515	43,257
減価償却累計額	△23,742	△23,941
建物及び構築物(純額)	19,773	19,315
機械装置及び運搬具	22,935	23,833
減価償却累計額	△18,110	△19,024
機械装置及び運搬具(純額)	4,824	4,808
土地	9,577	9,398
建設仮勘定	2,753	2,255
その他	29,913	31,797
減価償却累計額	△22,031	△23,576
その他(純額)	7,881	8,220
有形固定資産合計	44,809	43,998
無形固定資産		
のれん	3,788	3,276
その他	5,434	5,367
無形固定資産合計	9,223	8,644
投資その他の資産		
投資有価証券	67,923	70,219
長期貸付金	21	17
繰延税金資産	1,033	1,050
退職給付に係る資産	30	3,866
その他	5,166	5,123
貸倒引当金	△112	△107
投資その他の資産合計	74,062	80,170
固定資産合計	128,096	132,814
資産合計	308,430	320,215

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,859	19,879
短期借入金	5,763	5,758
1年内返済予定の長期借入金	4,701	3,086
未払法人税等	1,163	1,467
繰延税金負債	92	95
賞与引当金	2,050	2,069
製品保証引当金	2,100	2,285
受注損失引当金	31	0
その他	21,830	23,588
流動負債合計	54,592	58,231
固定負債		
長期借入金	17,307	18,695
繰延税金負債	6,459	9,893
役員退職慰労引当金	553	559
役員株式給付引当金	123	157
退職給付に係る負債	9,960	2,981
資産除去債務	229	232
その他	5,914	5,408
固定負債合計	40,548	37,928
負債合計	95,141	96,159
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,772	27,772
利益剰余金	155,545	160,512
自己株式	△17,216	△17,210
株主資本合計	185,658	190,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,407	30,906
繰延ヘッジ損益	△26	△27
為替換算調整勘定	3,135	5,745
退職給付に係る調整累計額	△6,529	△3,593
その他の包括利益累計額合計	26,987	33,031
非支配株主持分	643	393
純資産合計	213,289	224,055
負債純資産合計	308,430	320,215

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	82,520	85,212
売上原価	53,211	54,196
売上総利益	29,309	31,016
販売費及び一般管理費	26,169	25,375
営業利益	3,139	5,641
営業外収益		
受取利息	309	628
受取配当金	621	707
売買目的有価証券運用益	—	256
特定金銭信託運用益	61	87
その他	304	154
営業外収益合計	1,296	1,834
営業外費用		
支払利息	136	233
為替差損	1,030	185
持分法による投資損失	4	4
売買目的有価証券運用損	160	—
その他	21	26
営業外費用合計	1,353	449
経常利益	3,082	7,026
特別利益		
固定資産売却益	10	166
投資有価証券売却益	791	11
厚生年金基金代行返上益	—	6,024
特別利益合計	802	6,202
特別損失		
固定資産除却損	43	195
固定資産売却損	17	0
減損損失	—	135
投資有価証券売却損	—	49
関係会社株式売却損	—	176
特別退職金	10	241
移転費用	114	—
事業構造改善費用	529	—
特別損失合計	715	798
税金等調整前四半期純利益	3,168	12,430
法人税、住民税及び事業税	823	1,683
法人税等調整額	558	2,550
法人税等合計	1,381	4,233
四半期純利益	1,786	8,196
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	△99
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,851	8,296

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,786	8,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△315	499
繰延ヘッジ損益	△48	△1
為替換算調整勘定	△10,818	2,621
退職給付に係る調整額	1,870	2,935
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
その他の包括利益合計	△9,311	6,057
四半期包括利益	△7,524	14,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,285	14,340
非支配株主に係る四半期包括利益	△238	△86

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,168	12,430
減価償却費	3,266	3,363
減損損失	—	135
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	126	△6,912
のれん償却額	646	659
受取利息及び受取配当金	△930	△1,336
支払利息	136	233
売買目的有価証券運用損益(△は益)	160	△256
持分法による投資損益(△は益)	4	4
固定資産売却損益(△は益)	6	△165
固定資産除却損	43	195
投資有価証券売却損益(△は益)	△791	37
売上債権の増減額(△は増加)	1,412	1,074
たな卸資産の増減額(△は増加)	843	△3,135
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,631	2,952
その他	1,643	1,076
小計	8,105	10,357
利息及び配当金の受取額	955	1,319
利息の支払額	△136	△240
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△518	△1,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,405	9,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,335	△4,412
定期預金の払戻による収入	7,936	8,146
短期貸付けによる支出	△204	△273
短期貸付金の回収による収入	181	257
有価証券の取得による支出	△1,786	△2,471
有価証券の売却及び償還による収入	2,547	4,748
有形固定資産の取得による支出	△4,628	△1,803
有形固定資産の売却による収入	61	558
無形固定資産の取得による支出	△255	△305
投資有価証券の取得による支出	△4,442	△4,123
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,726	2,143
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△490	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△93
長期貸付けによる支出	△5	△4
長期貸付金の回収による収入	0	0
事業譲受による支出	—	△151
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,694	2,220

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△124	△280
長期借入れによる収入	5,700	1,663
長期借入金の返済による支出	△835	△1,953
自己株式の取得による支出	△1,199	△4
配当金の支払額	△3,346	△3,328
非支配株主への配当金の支払額	△15	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	179	△3,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,680	1,599
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,789	9,866
現金及び現金同等物の期首残高	47,813	50,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,023	60,841

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,925	45,292	81,217	1,303	82,520	—	82,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	917	71	989	3	992	△992	—
計	36,843	45,363	82,206	1,306	83,513	△992	82,520
セグメント利益又は損失 (△)	4,050	△1,123	2,927	△2	2,924	214	3,139

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,951	46,730	83,682	1,530	85,212	—	85,212
セグメント間の内部売上高 又は振替高	941	66	1,008	14	1,023	△1,023	—
計	37,893	46,796	84,690	1,545	86,236	△1,023	85,212
セグメント利益	5,487	8	5,496	86	5,582	58	5,641

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。